

友好都市コーナー

冬ならではの「花巻」
満喫しませんか？

新渡戸友好都市
岩手県花巻市

花巻市は「温泉のまち」。市内には、個性豊かな14カ所の元湯があり、それぞれに独特の個性と豊かな風情を醸し出しています。そんな元湯の一つ「南花巻温泉郷」に近接する鉛温泉スキー場（花巻市鉛）の今シーズンの営業が、12月23日からスタートしました。緩急さまざまなコースがある同スキー場は、上級者から初級者まで、自分のレベルに合わせて楽しく滑ることができます。

1月7日(日)にはイベント盛りだくさんの「スキー場まつり」も開催。スキーで思いっきり体を動かした後のはのんびり温泉につかる。皆さんもそんな冬ならではの楽しい一日を過ごしませんか。

積雪状況や天候などによって滑走コースが変更となる場合があります。詳しくは、鉛スキーセンター

(☎0198252711)

ホームページアドレス <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/ski/>

※温泉についての問い合わせは、花巻市役所本庁観光課

(☎0198242111内線289)へ



新渡戸友好都市とは

十和田市開拓の祖である新渡戸傳は、岩手県花巻市で生まれ、62歳のとき盛岡藩から三本木原開拓を許可され、人工河川工事に着手し、4年後に約11キロメートルの水路（稲生川）を完成させました。その新渡戸家の歴史的な結びつきや、お互いの面積・人口・産業構造などがよく似ていることから、平成元年10月10日に「新渡戸友好都市」の提携を結びました。

桂月の文学碑を訪ねて⑨



「四方の木は
みな冬枯れて ふる雪に
一もと青し 蕨の鉾杉」

この句に出会ったとき、『鉾杉』の表現に親しみを覚えました。鉾は、剣に長い柄をつけたものです。そして、大正時代の蕨温泉の写真に出会って、まさにこの様子を詠んだ歌であると感じました。

桂月は、この杉の樹の形が鉾に似ていることから鉾杉と名付けたようです。蕨温泉へ向かうとき、また蕨温泉滞在中も旅を終えて戻るとき、遠くからこの鉾杉を見て安堵したのではないのでしょうか。

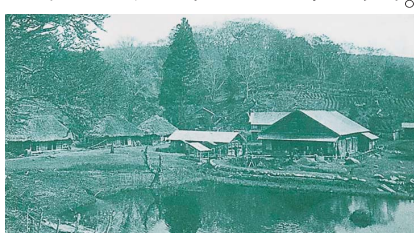
樹齢300年ともいわれるこの鉾杉は、現在は頂上丸みをおびて、周囲の

杉の木も成長しその当時とは景色が違っています。桂月の名づけた鉾杉は威風堂々とそびえ立っています。

桂月は、紀行文『蕨温泉籠城記』の中に蕨付近の三名木を次のように紹介しています。「…その一は、通天橋の途上に見る大山毛櫨なり。その二は、楼前の桂也。本幹中折して、支幹横に繁り、本幹には蕨蘿繁る。平生見ても一奇なるが、紅葉の頃、殊に奇観也。その三は薬師堂の鉾杉也。大さ二抱、杉としては、大ならざれども、一二里四方絶えて常緑樹なき中にあること、て、人の目を惹く。雪中に青々たるに至って、この杉の真価始めて現る、也。」

この紀行文に書かれた情景が歌になっっています。

歌碑は、蕨温泉旅館裏手の鉾杉のそばにあります。
(注)通天橋は蕨へ向かう国道103号にある。
(注)楼前は蕨温泉旅館前。



大正時代の蕨温泉 (青森県史より)

問い合わせ先

総務課 (☎2351111内線156)